

**2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)**

2025年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ

 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎

問合せ先責任者 (役職名) IR部 部長 (氏名) 金 廷賢 TEL 03-6328-4038

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

**1. 2025年9月期第1四半期の業績 (2024年10月1日~2024年12月31日)**
**(1) 経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	980	△4.8	100	—	100	—	104	—
2024年9月期第1四半期	1,029	13.4	△16	—	△15	—	△6	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	8.17	8.15
2024年9月期第1四半期	△0.48	—

**(2) 財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	6,726	5,115	75.4
2024年9月期	6,645	5,014	74.7

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 5,074百万円 2024年9月期 4,966百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日~2025年9月30日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	4.0	120	—	120	—	70	—	5.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期1Q	12,748,700株	2024年9月期	12,726,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年9月期1Q	180株	2024年9月期	180株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年9月期1Q	12,743,737株	2024年9月期1Q	12,663,612株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	5
（第1四半期累計期間）	5
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（セグメント情報等）	6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。

当社は、「生まれるべきものが生まれ 広がるべきものが広がり 残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の想いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（生活者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを運営しています。

また、付随サービスとして企業等有する研究開発技術を活かした新事業の創出をサポートするMakuake Incubation StudioやMakuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行、プロジェクトサポーターが安心して応援購入できる場や機会を提供する安心システム制度、プロジェクト終了後ECサイトにて継続販売するMakuake STORE、全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP等を提供しています。

当第1四半期累計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境に対する各種政策効果もあり、個人消費の緩やかな回復が続いていました。しかしながら、円安や国際情勢による原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇が続いていることが影響し、個人消費に足踏みがみられています。また、日米金利差の拡大や世界的なインフレの継続及び日銀の金融政策による金利上昇等によって経済の回復ペースが鈍化していることから中小企業にとっては厳しい状況が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっています。

当社を取り巻く市場環境としては、オフラインを中心とする体験への消費、中でも旅行、イベント参加、飲食等に強くみられ、この流れは当事業年度においても継続するものと考えています。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間は引き続きプロジェクトの掲載開始数及びアクティブプロジェクト件数の拡大よりも1プロジェクト当たりの単価の向上に注力してきました。

プロジェクト実行者向けには、良質なプロジェクトの創出を促すため、大きな応援購入金額を目標とする優良なリピート実行者を対象に応援購入金額最大化に向けたサポート特典を提供するほか、リピート実行者の新商品デビューを後押しするための集客支援キャンペーン等を展開しました。

他方、プロジェクトサポーター向けには、サポーターからの評価とコメントを実行者ページに表示する「レビュー」機能のアップデートや一度応援購入期間が終了したが、プロジェクトサポーターからの人気が高く、1次流通市場への展開前に限定された数量をもう一度応援購入ができるよう再度プロジェクトを掲載する「アンコールプロジェクト」施策を通して、応援購入体験の向上を図りました。

これらの施策により応援購入総額は前年同四半期比16.6%減少の3,829,103千円となりました。また、応援購入総額に安心システム利用料を合算した取扱高は3,920,327千円となりました。応援購入総額は前年同四半期以降円安、物価高等が加速し、実行者及びサポーターにおける外部環境が変化していることを考慮し、予想していた範囲内の減少となりました。

販管費については、引き続き広告宣伝費を中心に社内ROI基準に基づくコントロールを徹底し、不要なコストを積極的に精査すると同時に、費用対効果の向上を図ってきました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は980,713千円（前年同四半期比4.8%減）、営業利益は100,462千円（前年同四半期は営業損失16,900千円）、経常利益は100,866千円（前年同四半期は経常損失15,619千円）、四半期純利益は104,108千円（前年同四半期は四半期純損失6,060千円）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は6,726,139千円となり、前事業年度末と比べ80,263千円の増加となりました。

流動資産は63,715千円増加し、5,709,229千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が73,784千円増加したことによるものです。

固定資産は16,547千円増加し、1,016,909千円となりました。主たる要因は、有形固定資産が11,115千円増加したことによるものです。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は1,610,728千円となり、前事業年度末に比べ20,627千円の減少となりました。

流動負債は16,632千円減少し、1,565,208千円となりました。主たる要因は、未払法人税等が17,259千円減少したことによるものです。

固定負債は3,994千円減少し、45,520千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が4,341千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は5,115,410千円となり、前事業年度末に比べ100,890千円の増加となりました。主たる要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が104,108千円増加したことによるものです。

なお、2024年12月12日に開催された当社株主総会の決議により、繰越利益剰余金の欠損を解消させています。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想について、2024年9月期決算発表時から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,958,004	4,031,788
プロジェクト預り用預金	1,103,548	1,154,519
売掛金	420,701	357,051
その他	170,541	173,234
貸倒引当金	△7,282	△7,365
流動資産合計	5,645,513	5,709,229
固定資産		
有形固定資産	3,911	15,027
無形固定資産	800,033	804,005
投資その他の資産		
その他	203,954	205,413
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	196,417	197,876
固定資産合計	1,000,362	1,016,909
資産合計	6,645,875	6,726,139
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	35,451	18,192
預り金	1,110,474	1,153,558
その他	435,915	393,457
流動負債合計	1,581,841	1,565,208
固定負債		
退職給付引当金	3,982	4,329
勤続インセンティブ引当金	45,532	41,190
固定負債合計	49,515	45,520
負債合計	1,631,356	1,610,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,136,553	3,138,819
資本剰余金	3,136,553	1,832,375
利益剰余金	△1,306,444	104,108
自己株式	△659	△659
株主資本合計	4,966,004	5,074,645
新株予約権	48,515	40,765
純資産合計	5,014,519	5,115,410
負債純資産合計	6,645,875	6,726,139

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,029,895	980,713
売上原価	254,044	223,263
売上総利益	775,851	757,450
販売費及び一般管理費	792,751	656,987
営業利益又は営業損失(△)	△16,900	100,462
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	-	13
講演料等収入	1,968	80
助成金収入	340	-
雇用調整助成金	388	406
紹介手数料	196	197
ポイント還元収入	-	206
その他	2	18
営業外収益合計	2,897	925
営業外費用		
為替差損	172	521
株式交付費償却	1,443	-
営業外費用合計	1,616	521
経常利益又は経常損失(△)	△15,619	100,866
特別利益		
新株予約権戻入益	-	7,750
特別利益合計	-	7,750
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△15,619	108,616
法人税、住民税及び事業税	2,759	8,222
法人税等調整額	△12,318	△3,714
法人税等合計	△9,558	4,507
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,060	104,108

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月12日開催の第12回定時株主総会の決議に基づき、2024年12月12日付けで繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。この結果、資本剰余金が1,306,444千円減少、利益剰余金が1,306,444千円増加しましたが、株主資本の合計額には変動はありません。

これにより、当第1四半期会計期間末において資本剰余金1,832,375千円、利益剰余金104,108千円となっています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	23,398千円	40,282千円